

ALES
DYNAMIC
TOP
CLEAN

水性反応硬化形ハルスハイリッチシリコン樹脂系複合形超低汚染塗料

アレスダイナミックTOPクリーン

建物外装をとりまく厳しい環境

建物外装は、太陽光から降り注ぐ紫外線により塗膜の劣化が進行し、美観と外装材の保護機能が低下します。さらに空気中に浮遊する粉塵やカビ・藻などの微生物による汚れにより美観が損なわれます。大切な建物をこのような様々な要因から護るためには「外装の保護」と「美観の維持」機能を兼ね備えた塗料選びが大切です。



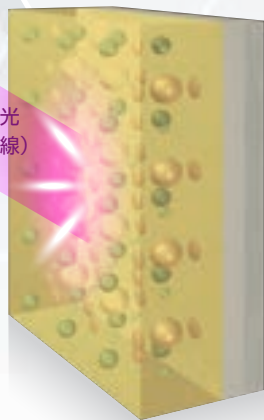
『ラジカル制御技術』に クリーンな外壁を追求した 『複合形汚染防止技術』がプラス

「アレスダイナミックTOPクリーン」は『ラジカル制御技術』による「外装の保護」に、粉塵の固着や藻・カビなどの生育を抑制する『複合形汚染防止技術』の導入による「美観の維持」をプラスすることで長期にわたり建物の資産維持に貢献します。

ラジカル制御技術

4つの技術で塗膜の劣化を抑制

太陽光
(紫外線)



複合形汚染防止技術

汚れの原因になる粉塵の固着や藻・カビの生育を抑制

微生物



粉塵



アレスダイナミックTOPクリーンの特長



『複合形汚染防止技術』導入で
最高レベルの超低汚染

- ・粉塵が固着しにくくクリーン
- ・カビ・藻の生育を強力に抑制しクリーン



臭気の少ない水性塗料



『ラジカル制御技術』の採用による
最上位品フッソに迫る高耐候性



艶の選択が可能

[つや有り、5分つや、3分つや]

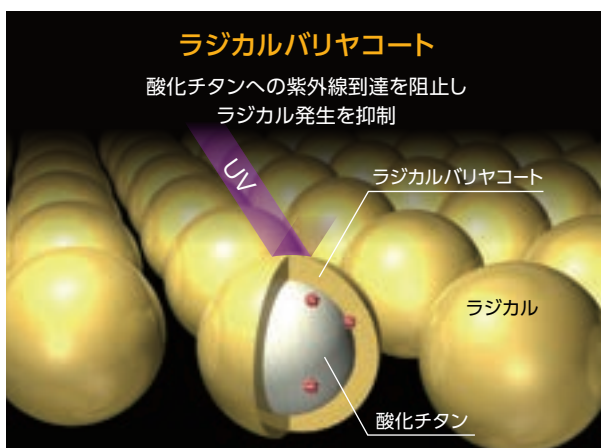
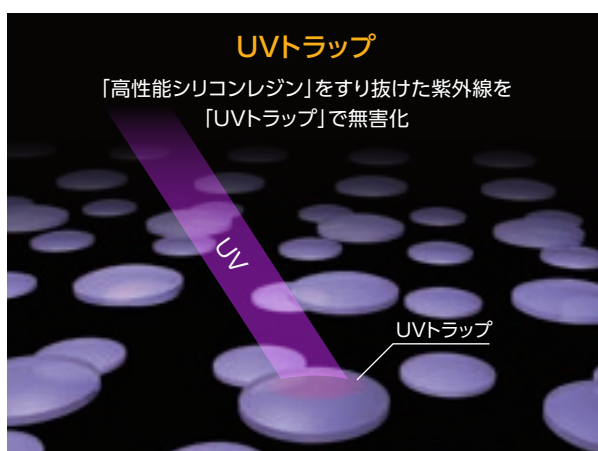
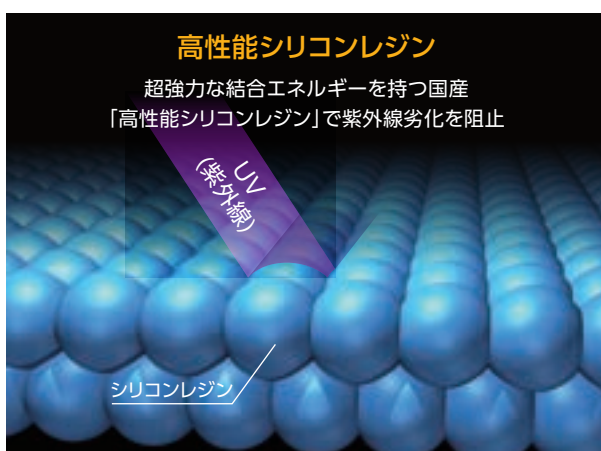


弾性下地にも適用可能

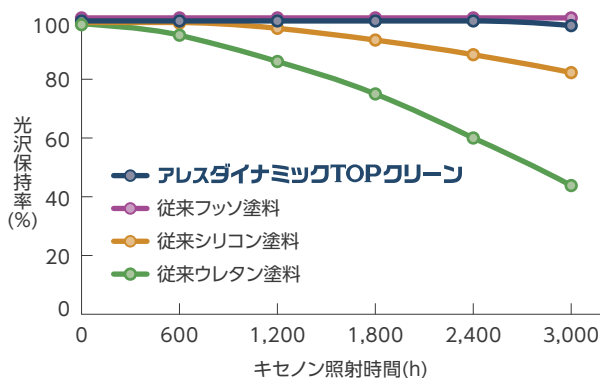
『ラジカル制御技術』の 4つの技術で塗膜の劣化を抑制

塗料の主成分のひとつ「酸化チタン」に紫外線が当ることにより発生する物質「ラジカル」は、塗膜を破壊し劣化を促進させます。この塗膜劣化の原因物質の発生を抑えることで塗膜の耐候性を飛躍的に向上させます。

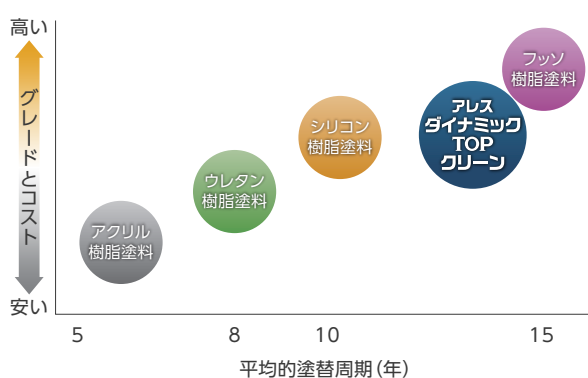
動画でチェック



促進耐候性試験結果



塗料のグレード



『複合形汚染防止技術』の導入により 「クリーンな外壁」を維持

「アレスダイナミックTOPクリーン」は、粉塵(煤塵・埃・PM2.5)汚れと、微生物(カビ・藻)汚れを強力に抑制する『複合形汚染防止技術』を導入することで、安定した超低汚染機能を発揮し「クリーンな外壁」を維持します。

粉塵汚れ防止技術

樹脂表層が硬質で、緻密な架橋構造を形成する塗膜により、塗装初期から粉塵(煤煙・埃・PM2.5など)の固着を抑制します。

雨筋部汚れの比較



アレスダイナミックTOPクリーン

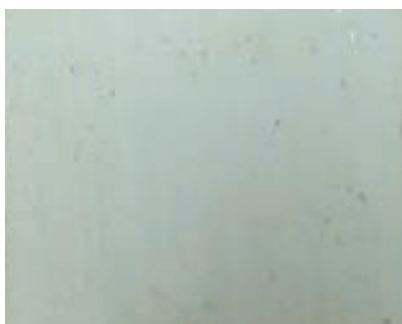


従来シリコン樹脂塗料

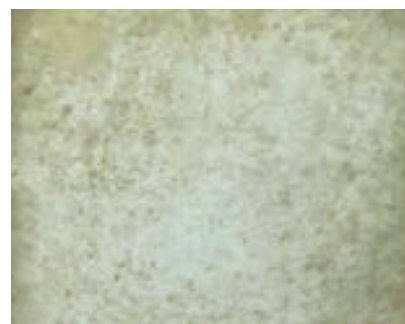
微生物汚れ防止技術

超強力防藻剤・防カビ剤の採用により藻・カビの生育を抑制し、外装材としては今までにない、一般建築物における検出度の高い約60菌種のカビ・藻に対し優れた効力を発揮します。

カビ抵抗性試験結果(MIL法準拠、養生日数:28日)



アレスダイナミックTOPクリーン



従来シリコン樹脂塗料

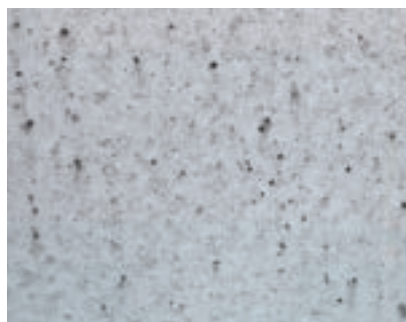
MIL法試験条件

規格	MIL法	JIS Z 2911	
菌種	71菌	5菌	
培養条件	温度	28~30℃	24~28℃
	湿度	85%以上	条件なし
	期間	28日間	7日間

カビ発生環境での暴露試験結果(1年)



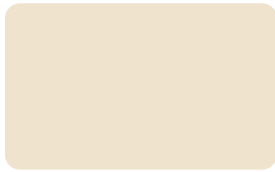
アレスダイナミックTOPクリーン



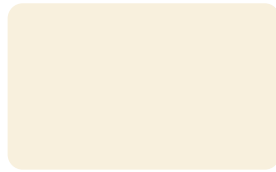
従来シリコン樹脂塗料



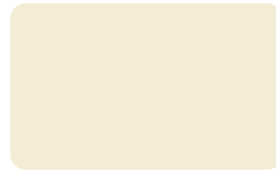
試験環境



KP-111



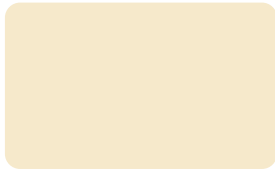
KP-110



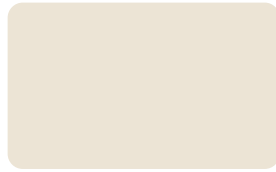
KP-112



KP-223



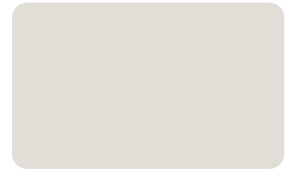
KP-310



KP-121



KP-133



KP-221



KP-120



KP-127



KP-131



KP-80



KP-337



KP-336



KP-141



KP-247



KP-330



KP-147



KP-350



KP-75



KP-347



KP-150



KP-352



KP-70



KP-356



KP-357



KP-368 ◎



KP-50



KP-367



KP-167



KP-376



KP-379 ◎



KP-170



KP-385 ◎



KP-185 ◎

※この見本は印刷のため、実際の色とは異なります。色合わせの目的には使用できません。
◎印は、濃彩色のため材料費が割高になります。

上塗

アレスダイナミックTOPクリーン
 艶:つや有り、5分つや、3分つや
 荷姿:15kg、4kg

下塗

■アレスダイナミックシーラーアクア
 色:白、半透明
 荷姿:【15kgセット】ベース12.5kg、硬化剤2.5kg
 ■アレスダイナミックプラサフII 荷姿:15kg
 ■アレスダイナミックフィラー 荷姿:16kg

アレスダイナミックTOPクリーン 塗装仕様例

■ 標準塗装仕様

適用下地 窯業系サイディングボード・コンクリート・モルタル・ALC・各種旧塗膜

工 程	塗料名・処置	荷 姿	塗装方法	標準所要量 (kg/m ² /回)	希釈率 (重量%)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)
素地調整	劣化した旧塗膜をディスクサンダー・スクレーパー・皮スキ・ワイヤーブラシを用いて除去する。エフロ・レイトランス・ゴミ・汚れなどは、ワイヤーブラシ・サンドペーパー・ウエスを使用して除去する。モルタルの場合、浮き・クラックなどは適切な処置を行う。窯業系サイディングボードの場合、欠損、シーリング材の劣化部などは適切な処置を行う。					
下 塗	アレスダイナミックシーラーアクア 上水	ベース:12.5kg 硬化剤:2.5kg	ハケ・ローラー	0.13~0.20	0~15	4時間以上7日以内
上塗1回目	アレスダイナミックTOPクリーン 上水	15kg 4kg	ハケ・ローラー	0.11~0.15	5~10	2時間以上7日以内
上塗2回目	アレスダイナミックTOPクリーン 上水	15kg 4kg	ハケ・ローラー	0.11~0.15	5~10	—

※標準所要量は、被塗物の形状や下地の状態、塗装方法、環境などによって増減することがあります。

適用下地 窯業系サイディングボード・コンクリート・モルタル・ALC・各種旧塗膜

工 程	塗料名・処置	荷 姿	塗装方法	標準所要量 (kg/m ² /回)	希釈率 (重量%)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)
素地調整	劣化した旧塗膜をディスクサンダー・スクレーパー・皮スキ・ワイヤーブラシを用いて除去する。エフロ・レイトランス・ゴミ・汚れなどは、ワイヤーブラシ・サンドペーパー・ウエスを使用して除去する。モルタルの場合、浮き・クラックなどは適切な処置を行う。窯業系サイディングボードの場合、欠損、シーリング材の劣化部などは適切な処置を行う。					
下 塗	アレスダイナミックプラサフII	15kg	中毛ローラー	0.25~0.40	無希釈*1	4時間以上7日以内
上塗1回目	アレスダイナミックTOPクリーン 上水	15kg 4kg	ハケ・ローラー	0.11~0.15	5~10	2時間以上7日以内
上塗2回目	アレスダイナミックTOPクリーン 上水	15kg 4kg	ハケ・ローラー	0.11~0.15	5~10	—

※標準所要量は、被塗物の形状や下地の状態、塗装方法、環境などによって増減することがあります。

※1 冬場など塗料粘度が高い場合は、上限2%まで希釈可能です。これ以上に希釈すると隠蔽性が低下したり、ひび割れ等が生じたりする恐れがあります。

適用下地 コンクリート・モルタル・ALC・各種旧塗膜

工 程	塗料名・処置	荷 姿	塗装方法	標準所要量 (kg/m ² /回)	希釈率 (重量%)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)
素地調整	劣化した旧塗膜をディスクサンダー・スクレーパー・皮スキ・ワイヤーブラシを用いて除去する。エフロ・レイトランス・ゴミ・汚れなどは、ワイヤーブラシ・サンドペーパー・ウエスを使用して除去する。モルタルの場合、浮き・クラックなどは適切な処置を行う。					
下 塗	アレスダイナミックフィラー 上水	16kg	中毛ローラー	0.30~0.50	5~10	8時間以上7日以内
			多孔質ローラー	0.80~1.50	1~5	
上塗1回目	アレスダイナミックTOPクリーン 上水	15kg 4kg	ハケ・ローラー	0.11~0.15	5~10	2時間以上7日以内
上塗2回目	アレスダイナミックTOPクリーン 上水	15kg 4kg	ハケ・ローラー	0.11~0.15	5~10	—

※標準所要量は、被塗物の形状や下地の状態、塗装方法、環境などによって増減することがあります。

※下塗には、アレスダイナミック防水フィラー、アレスダイナミックシーラーマイルド、アレス水性エポキシ樹脂、浸透形Mシーラー、エコカチオンシーラー、アレス弾性ホルダー防水形なども使用可能です。

汚れについて

- シーリング材のにじみ、鉄サビに起因する汚れは、従来塗料と同等のレベルです。
- 雨掛かりの少ない被塗面や汚れが大量に流れ落ちる被塗面(窓下、水切り形状、鼻先など)、

その他構造上の問題で低汚染機能が十分発揮できない場合があります。

施工上の注意事項

安全・衛生に注意し正しく製品をご使用いただくために特に下記の事項を守ってください。

- 素地のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケット科学社製CH-2)、または5%以下(ケット科学社製HI-500シリーズ:コンクリートレンス)の条件で塗装してください。
- 躯体や構造からの漏水がある場合、止水処理を十分行ってください。
- 躯体含水率が高い場合、断熱機能が十分でない結露の多い建物、換気効率の十分でない建物、漏水箇所の止水処理が十分でない場合、居住者の方の生活環境などの違いなどで、塗膜の持つ透湿性能以上の水蒸気量発生の場合は、塗膜がふくれることがあります。
- シーリング面への塗装は極力避けてください。汚染や粘着、ワレの原因となります。やむをえず塗装する場合には、ノンブリードタイプのシーリング材を用いることとし、「シーブラ」または「マルチタイルコンクリートプライマー-EPO」をバインダーとして挟むことで不具合を軽減することができます。
- 気温5℃以下、湿度85%以上、降雨、降雪、強風が予想される場合は塗装をしないでください。
- 旧塗膜の劣化が著しい部分はサンダー、ワイヤーブラシ等で除去し、加圧水洗後十分乾燥させてから塗装してください。
- 気温0℃以下、40℃以上となる環境下や直射日光が当たる場所での塗料保管は避けてください。
- 軽量モルタル、ALCパネル、高断熱型窯業サイディングおよび発泡ウレタンなどを使用した壁断熱工法などの「高断熱型外壁」を塗り替える際、旧塗膜が溶剤系アクリルトップである場合は蓄熱や水の影響、塗装後の環境などいくつかの条件が重なることで、塗膜のふくれが生じることがあります。旧塗膜をラッカーシンナー拭きして簡単に塗膜が再溶解する場合は、下塗に「マ

ルチタイルコンクリートプライマー-EPO」を塗装してください。

- ハケ塗りで補修塗りを行う際、ローラー塗りとの仕上がり肌や希釈率の違いによる色相差が生じることがありますので、ご留意ください。
- 旧塗膜がスタッコのような大柄模様の場合は各工程の塗料を十分に塗り込んでください。
- 押出成型板・GRC板などの難付着建材へは「ダイナミックシーラーマイルド」を透けのないように入念に塗付してください。
- 弾性スタッコへの塗装はできません。
- 下地補修部へ対しましては、必ずシーラー塗装を行ってください。
- 汚れ、傷などにより補修塗りが必要な場合がありますので、使用塗料の控えは必ずとっておき、同一塗料、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がりが異なって見えることがあります。
- 過希釈は隠ぺい力不足、仕上がりが不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- 艶調製品の場合、塗付量や塗装環境等によって艶が落ち着くまでに時間がかかる場合があります。
- 防藻・防かび効果は、繁殖を抑制するものです。すでに繁殖している場合は、下地処理として除去及び殺菌処理をしてから塗装してください。
- 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保管し、速やかに使い切ってください。

ご使用上の注意事項

下記の注意事項を守ってください。詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照ください。

- 取り扱い作業中・乾燥中ともに換気のよい場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。
- 吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
- 皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・ネリ巻きタオル・長袖の作業着・前掛を着用すること。
- 本来の目的以外に使用しないこと。
- 指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。
- 缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
- 取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
- 使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
- 本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。
- 目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
- 皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察

- を受けること。
- 吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
- 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
- 漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取る。
- 火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。
- 指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。
- 廃棄：本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)
- 施工：本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。



MADE IN JAPAN

関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp



お近くの営業所は
こちらから!

各種カタログご覧になれます。

※本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご諒承ください。

(24年03月01日PKO) カタログNo.963